

# 第91回 縮小社会研究会



日時 2025年11月13日 19時～21時

場所 オンライン開催

<https://us02web.zoom.us/j/83931699668?pwd=bZo2qRjrOAVtwLns438mykh0Xhx1nC.1>

ミーティング ID: 839 3169 9668 パスコード: 708188

2011年3月11日、東京電力の福島第一原発は、世界最悪レベルとされる原発事故を引き起こし、10数万人もの人々が避難を強いられました。いまだに原子力緊急事態宣言が出され続けたままであり、甲状腺がんの多発をはじめとする健康不安など、様々な被害が続いています。しかし今年3月、旧経営陣の刑事責任を問う福島原発刑事訴訟において、最高裁は東電旧経営陣の無罪を確定しました。最高裁はすでに2022年6月には、避難者への賠償に関する裁判で、国策として原発が推進されてきたにもかかわらず、「国には法的責任がない」という判決を出しています。

福島原発事故から15年近くがたち、事故の記憶が風化させられていくなかで、国は次々と原発を再稼働し、稼働40年超（事実上60年超）の老朽原発を稼働させることを認め、今年2月には第7次エネルギー基本計画に「原発の最大限活用」という方針を書きこみました。地球温暖化やAIによる電力需要急増などへの対策と称して、原発事故以降の「原発依存度の可能な限りの低減」という方針の根本的な転換が行われたのです。さらに高市新政権は原発を重視し、次世代革新炉（SMR）や核融合炉の開発を進めることを表明しています。

この福島原発事故以降、全国でこれまで14基の原発が再稼働され、そのうちの半分の7基は福井県にある関西電力の原発です。関電は老朽原発も率先して稼働し、この夏、事故後初めて、原発の新増設をも打ち出しました。

私たちは原発をどうしていくべきなのか、改めて考えてみたいと思います。（文責：藤井悦子）

## 原発依存をやめ、自然エネルギーへの転換を

講師： 木原壯林さん（京都工芸繊維大学名誉教授）

講師紹介：木原壯林（きはらそうりん）さんは、元日本原子力研究所研究員で、京都工芸繊維大学名誉教授。「若狭の原発を考える会」と「老朽原発うごかすな！実行委員会」の運営メンバーとして活動。



参加費：会員は無料、非会員は500円

参加登録：非会員の方は当会（下記）まで氏名、メールアドレス、所属を連絡願います。

一般社団法人 縮小社会研究会 e-mail: [jimukyoku@shukusho.org](mailto:jimukyoku@shukusho.org) HP: <http://shukusho.org/>